

# 感染症情報 10月9日～15日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①咽頭結膜熱	603例(堺市	67例)
②感染性胃腸炎	550例(堺市	68例)
③溶連菌感染症	463例(堺市	51例)
④手足口病	74例(堺市	7例)
⑤ヘルパンギーナ	46例(堺市	2例)

府下306医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ** 2, 535例(堺市 329例)

報告数による順位である。前週比12.0%減の1,864件の報告であった。咽頭結膜熱が府下で20%減、定点当たり3.82→3.06であった。堺市で前回76例→今回67例。定点当たり4.00→3.53であった。感染性胃腸炎が府下で前週比3%増、堺市で前週52例→今回68例であった。溶連菌感染症が府下で12%減、堺市で前週41例→今回51例。手足口病が府下で27%減、堺市で前回13例→今回7例であった。ヘルパンギーナが府下で27%減、堺市で前回5例→2例であった。

インフルエンザが府下で前週比16%増、堺市で29%増であった。定点当たり大阪府は7.13→8.28に、堺市は8.79→11.34に悪化し、注意報レベル基準値10を超えた。

府下306医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症** 849例(堺市 102例)  
大阪府定点 2.77 堺市定点 3.52

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
28	57	70	153	83	70	91	82	65	74	76	849

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,179例→今回849例は28%減、定点当たり3.85→2.77であった。堺市は前週196例→今回102例で48%の大幅減、定点当たり6.76→3.52であった。大阪府のブロック別ではワースト2であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。